

第83回運輸政策セミナー 開催のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび運輸総合研究所におきましては、「第83回運輸政策セミナー」を開催することとなりました。

つきましては、ご関心をお持ちの皆様におかれましては、ご参加を賜りますようご案内申し上げます。また、ご関心をお持ちの方々に広くご周知頂ければ幸いです。

ご参加に当たりましては、大変恐縮ですが、申込み専用 URL からお申込み頂きますようお願い申し上げます。

敬具

記

○第83回運輸政策セミナー

日 時：2022年6月27日（月）15：00～17：30

会 場：オンライン配信（Zoom ウェビナー）および運輸総合研究所2階会議室

テーマ：「地域づくりの新定石」

～アドベンチャートラベルの取り組みを例に、地域主導の世界水準の観光の創り方を考える～

1. 取り組み紹介

テーマ：「アドベンチャートラベルの本質と北海道における取り組みの全体像」

講 師：水口 猛 国土交通省 北海道運輸局 観光部長
実重 貴之 内閣官房 アイヌ総合政策室 参事官補佐

テーマ：「熊野古道から KUMANO KODO へ

～世界に開かれた持続可能な観光地を目指して～

講 師：多田 稔子 一般社団法人 田辺市熊野ツーリズムビューロー 会長

テーマ：「北海道におけるアドベンチャートラベルの現場について」

講 師：鈴木 宏一郎 株式会社北海道宝島旅行社 代表取締役社長

2. パネルディスカッション・質疑

コーディネーター：矢ヶ崎 紀子 東京女子大学 副学長

パネリスト：高田 茂 鶴雅リゾート株式会社 取締役

一般社団法人日本アドベンチャーツーリズム協議会 理事

ATTA アンバサダー

水口 猛 実重 貴之 多田 稔子 鈴木 宏一郎

3. 概 要

人口減少により地域社会の存続すら危ぶまれる状況が現実化している日本において、地域の魅力を向上させ、交流、観光を活用して地域の持続、活性化を図る、住んでよし訪れてよしの地域づくりの取り組みは極めて重要である。加えて観光のあり方として、生産性が向上し、より産業として成熟した「担ってよしの観光」の視点も重要視されるようになってきた。

コロナ禍の下、こうした課題の重要性は喫緊なものになってきている。2022年はコロナ禍からの脱却を目指す年となるが、大打撃を受けた観光も、単にコロナ禍の前の状況に戻すのではなく、より高付加価値で地域の持続的発展に貢献する、質の高い観光を目指していく必要がある。

そのような中、地域の自然・文化を体験する身体的な活動を通じ、旅行者自身が新しい・多様な価値観に触れ、自身の内面が変わっていくような旅のスタイルを基本とし、地域、観光客、観光事業者、環境の四方よしの観光づくりを実践する、いわゆるアドベンチャートラベルの取り組みが、観光を活用した持続的な地域づくりの観点から注目されている。

今回のセミナーでは、アドベンチャートラベルに地域で取り組む当事者にどのように地域に貢献する観光づくりを進めているのかを語っていただき、ポストコロナにおける、質の高い、真に地域の持続的な発展・活性化に貢献する観光のあり方について普遍的なヒントと展望を得ることとしたい。

●取組紹介①：アドベンチャートラベルの本質と北海道における取り組みの全体像

コロナが観光の形を大きく変えてしまいました。しかし、それは悪い面ばかりではありません。地域の自然や文化を知り、密を避けることで観光地に負荷をかけない旅行スタイル、アドベンチャートラベルが注目される契機となりました。リスクを冒して体験することがアドベンチャートラベルではありません。旅行者が訪れることによって地域が潤う仕組みこそがアドベンチャートラベルです。この理念を基にこれまで北海道で取り組んできた概要をご紹介します。

●取組紹介②：熊野古道から KUMANO KODO へ ～世界に開かれた持続可能な観光地を目指して～

世界遺産熊野古道を活用し、国内外の歩く人にターゲットを絞った観光プロモーションを展開し、受け地のレベルアップに取り組んだ。その結果、FIT という新たなマーケットが形成され旅行事業売上は5億円を超えるまでになった。しかし、COVID-19の影響により売上は激減、戦略の見直しを迫られた。そんな中、森林環境教育プログラムを教育現場や林業関係者と共に開発、「熊野自然学校」の設立を目指している。教育旅行という国内マーケットを視野に入れながら、設立時からの目標である持続可能な観光地づくりを官民共創で進めたい。

●取組紹介③：北海道におけるアドベンチャートラベルの現場について

弊社が2007年の創業以来15年間取り組んできた、北海道における着地型の旅行サービス、特にインバウンド向けのテラーメイドツアーの提供が、アドベンチャートラベル(AT)の取組みとぴったりと重なりました。地域住民が愛する自然や歴史・文化を体験交流型のガイドサービスによって楽しんで頂く。GSTC-Iの考え方を大切に、顧客の要望や状況によって臨機応変に対応する。自社及び北海道としてのATガイド資格制度策定の展望についてお話しさせていただきます。

4. ご経歴

●水口 猛 国土交通省 北海道運輸局 観光部長



(ご経歴)

1982 年 運輸省北海海運局に入局

1989 年 小樽商科大学短期大学部修了

2004 年 北海道観光局へ出向し、以降、18年間継続して観光行政に携る。

2006 年 北海道運輸局観光部国際観光課に復帰後、欧米豪からのスキー客誘致やラグジュアリー客誘致など、訪日外国人観光客誘致に長く取り組む。

現在は、北海道の自然文化を活かしたアドベンチャートラベルをコロナ後の切り札と位置づけその振興に取り組んでいる。

著書「アドベンチャートラベル大全」やまところ BOOKS 2021 年

水口 猛 実重 貴之 田中 大輔 共著

●実重 貴之 内閣官房 アイヌ総合政策室 参事官補佐

(ご経歴)

2011 年 東京大学経済学部卒業。

2011 年 国土交通省に入省。

住宅局、総合政策局、大臣官房総務課等を経て、2017 年から 2020 年まで北海道運輸局で観光企画課長として勤務し、北海道 AT 推進・マーケティング戦略の策定に関与。

2020 年から国土交通省北海道局アイヌ政策調整官(併)内閣官房アイヌ総合政策室参事官補佐。

著書「アドベンチャートラベル大全」やまところ BOOKS 2021 年

水口 猛 実重 貴之 田中 大輔 共著



●多田 稔子 一般社団法人 田辺市熊野ツーリズムビューロー 会長

(ご経歴)

和歌山県生まれ。和歌山大学教育学部卒業。

2005 年～2009 年、田辺観光協会会長をつとめる。

2006 年 5 月、田辺市内 5 つの観光協会で組織する「田辺市熊野ツーリズムビューロー」会長に就任する。

日本における DMO (観光地域づくり組織) の先駆けとして、熊野古道エリアを「世界に開かれた上質で持続可能な観光地」とすることを目指して活動している。

本業の株式会社双美商会 (ビルメンテナンスや人材派遣業を営む) では、取締役副社長として経営参画する。

その他主な公職、和歌山県景観審議会委員、わかやま中小企業元気ファンド審査委員、和歌山大学観光学部・大学院観光学研究科観光教育研究アドバイザーボード (2017.4～2021.3) など。



●鈴木 宏一郎 株式会社北海道宝島旅行社 代表取締役社長

(ご経歴)



1965 年 11 月 22 日北九州市生まれ。高校卒業まで兵庫県西宮市にて育つ。

1988 年東北大学法学部卒業、2001 年小樽商科大学大学院商学研究科修了。

1988 年株式会社リクルート入社、全国各地勤務の後、2005 年にフレックス定年退職して北海道へ I ターン。

2007 年 4 月に北海道の体験型・滞在型・交流型観光の振興に取り組む株式会社北海道宝島旅行社設立と同時に代表取締役社長に就任。全道各地の着地型観光振興、インバウンド観光振興による「住んでよし、訪れてよし、間に立ってよし、環境によしの四方良しの観光地域づくり」を目指して奮闘・努力中。

JARTA(Japan alliance of Responsible travel Agencies) 理事。

2018 年 6 月に日本生産性本部主催「日本サービス大賞 優秀賞」受賞。同年 12 月に経済産業省より「地域未来牽引企業」に選定。

2020 年より北海道観光審議会委員。

2021 年 12 月に GSTC-I の国際認証団体 TRAVELIFE の Partner 登録取得。

2022 年 1 月に札幌商工会議所「SDGs 経営表彰 総合賞」受賞。

●高田 茂 鶴雅リゾート株式会社 取締役

一般社団法人日本アドベンチャーツーリズム協議会 理事 ATTA アンバサダー



(ご経歴)

1959 年 北見市生まれ。阿寒湖育ち。父の影響でフライフィッシング、ハンティング、スキー、トレッキングなどのアウトドアスポーツと共に育つ。

1978 年 明治大学政経学部入学、体育会ラグビー部入部

1978 年～82 年 卒業までに大学選手権 2 度優勝。

1982 年 2 月 カナダラグビーユニオン ビル ダンバー氏の依頼を受け同年 6 月～1983 年 9 月カナダの高校生ラグビー強化のためコーチとして渡航。コーチのかたわら様々なアウトドアスポーツを経験し学習する。

1997 年 鶴雅リゾート株式会社 入社

2017 年 アドベンチャー事業部開設

2018 年 鶴雅アドベンチャーベース【SIRI】オープン 部長に就任

現在に至る。

※モットー：【SIRI】のガイドはフィールドの演出家。

●矢ヶ崎 紀子 東京女子大学 副学長

(ご経歴)



北海道出身。国際基督教大学教養学部社会科学科卒業。九州大学大学院法学府政治学専攻修士課程修了。

1987年住友銀行に入行。日本総合研究所総合研究部門上席主任研究員、国土交通省観光庁参事官（観光経済担当）、首都大学東京都市環境学部特任准教授、東洋大学国際観光学部教授を経て、2019年4月より東京女子大学 現代教養学部 国際社会学科 コミュニティ構想専攻 教授。

日本貨物鉄道社外取締役、東武鉄道社外取締役、東日本高速道路社外監査役、（一財）運輸総合研究所理事。

国土交通省交通政策審議会観光分科会会長、他政府関連委員多数。

参 加 費：無料

お申込み：下記の URL よりお申し込みください

<https://krs.bz/jterc/m/semi220627>

（申込期限：6月23日（木）まで）

※お申し込み頂いた方には、6月24日（金）午後に視聴用 URL をご送付いたします。



運輸総合研究所は日本財団の助成を受けて活動を行っております。

Supported by  日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

お問合せ：一般財団法人運輸総合研究所（担当：新倉、矢内）

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-18-19(UD 神谷町ビル)

TEL : 03-5470-8415 FAX: 03-5470-8401

E-mail: collo@jttri.or.jp

HP: <https://www.jttri.or.jp/>